

東京学芸大学令和8年度入学試験における出題ミスについて

令和8年2月25日に実施しました東京学芸大学一般選抜（前期日程）・私費外国人留学生選抜の試験科目において、出題ミスがあることが判明しましたので、下記のとおり公表します。

受験生の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに多大なご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。本学としては、今回の事実を厳粛に受け止め、今後このようなことがないように、再発防止に万全を期する所存でございます。

記

出題ミスが判明した試験科目

- ・化学基礎・化学 一般選抜（前期日程）・私費外国人留学生選抜
- ・地学基礎・地学 一般選抜（前期日程）・私費外国人留学生選抜

化学基礎・化学

（出題ミスの内容）

大問Ⅱの問題文の1文目である「原子中の電子は、原子殻とよばれるいくつかの層にわかれて原子核のまわりに存在している。」という文中において、正しくは「電子殻」と表記するところ「原子殻」と誤植していた。これにより問1 ア、イ及びウの解答に影響する可能性が生じた。

（当該問題の抜粋）

Ⅱ 次の文章を読んで、下の問いに答えよ。

原子中の電子は、原子殻とよばれるいくつかの層にわかれて原子核のまわりに存在している。内側から n 番目の殻に入りうる電子の最大数は、 n を用いた式で **ア** と表される。

最外殻にある価電子とよばれる電子は、原子がイオンになったり、他の原子と結合したりするときに重要な役割を果たしている。例えば、炭素原子Cの価電子は **イ** 殻にある電子であり、価電子数は **ウ** 個である。

原子が価電子1個を放出して1価の陽イオンになるのに必要なエネルギーを **エ** といい、原子が最外殻に電子1個を取り込んで1価の陰イオンになるときに放出するエネルギーを **オ** という。

ナトリウム原子Naは価電子1個を放出して Na^+ となりやすく、塩素原子Clは電子1個を受け取って Cl^- になりやすい。 Na^+ は **カ** 原子と、 Cl^- は **キ** 原子と同じ電子配置である。 Na^+ と Cl^- は **ク** 力で引き合って結合を形成する。このようにしてできる結合をイオン結合といい、この結合からなる物質の結晶を、イオン結晶という。イオン結晶は一般に融点が **ケ** く硬いが、^①強い力を加えると結晶の特定な面に沿って割れやすい。この性質を **コ** という。また、^②イオン結晶を融解すると電気を導くようになる。

問1 文中の空欄ア～コに当てはまる最も適切な数式、数値、記号、または語句を答えよ。

（対応）

大問Ⅱ 問1 ア、イ及びウについては、全員正解として扱います。
これによる合否への影響はありません。

(出題ミスの内容)

大問Ⅲ 問2 リード文において、「P波速度とS波速度」の記述は、本来「P波速度 α とS波速度 β 」とすべきであったが、それがなされていないために、(2)及び(3)の正答を導き出すことができなかった。

(当該問題の抜粋)

大問Ⅲ

問2 地震波の伝播に関して以下の(1)～(4)に答えよ。ただし、地下のP波速度とS波速度は一樣であると仮定し、それぞれ6.0 km/s, 3.5 km/sとする。

- (2) 三次元空間で z 軸を鉛直上向きにとり、 $z = 0$ を地表面とする。地表面における2つの観測点 $O_1(0, 0, 0)$ と $O_2(L, 0, 0)$ において地震波を観測し、それぞれの初期微動継続時間を T_1, T_2 とする。このとき、震央の位置 (x, y) は O_1 と O_2 を中心とする円の方程式、

$$x^2 + y^2 = \boxed{\text{ア}} \quad \text{①}$$

$$(x - L)^2 + y^2 = \boxed{\text{イ}} \quad \text{②}$$

の内部にある。上式の空欄 $\boxed{\text{ア}}$ 、 $\boxed{\text{イ}}$ を α, β, T_1, T_2 を用いて答えよ。

- (3) (2)で求めた2式のみからは震央の座標は決定できないものの、震央の x 座標については求めることが可能である。式①、②から y を消去することにより震央の x 座標を求めよ。

(対応)

大問Ⅲ 問2 の(2)及び(3) については、全員正解として扱います。
これによる合否への影響はありません。